

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月29日		記入者		連絡先	2682
平成18年度部名	保健福祉部		課名	障害福祉課		課長名 篠崎 正義
平成19年度部名	福祉部		課名	障害福祉課		課長名 原 修
事務事業名	視覚障害者用福祉のしおり作成費					
予算上の事務事業名	視覚障害者用福祉のしおり作成事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加					
施策名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
(国)市町村障害者社会参加促進事業実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	相模原市障害者福祉計画		障害者を中心とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期10~14、中期15~18、後期19~22) 地域福祉サービス			
計画年次	10	年度~	22	年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		▼	5 事業開始年度	平成2年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
相談窓口・医療・手当・補装具・税金・公共料金の割引等の障害福祉に係る制度を点字版、録音版で作成。対象者に配布し、障害福祉サービスの案内や利用の促進を向上させる。				点字版・点字版広報さがみはら読者録音版・義務教育を修了した視覚障害1・2級		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成18年9月、点字版を相模原市点訳奉仕団、録音版を相模原市録音奉仕会と委託契約。同年12月、点字版及び録音版を発行。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
類似事業として墨字版「福祉のしおり」がある。墨字版については各福祉窓口にて配布。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	960	1,110	1,074	1,100	1,300	
一般財源	320	370	358	367	434	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	640	740	716	733	866	
人件費の合計	2,017	2,037	2,004	2,004	2,004	
事業コスト合計	2,977	3,147	3,078	3,104	3,304	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	視覚障害者用福祉のしおり作成事業			対象名称 と単位	1部あたりの発行費用	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	2,977	3,147	3,078	3,104	3,104	
対象数	399	406	469	476	476	
単位あたり経費(円)	7,461	7,751	6,563	6,521	6,521	
前年度比		1.04	0.85	0.99	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	点字版及び録音版の配布数	指標式と指標の説明	配布者数 / 対象者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	381.0	386.0	439.0		
目標	381.0	381.0	381.0	381.0	381.0
目標達成度 (%)	100.0	101.3	115.2		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	点字版及び録音版の配布率	指標式と指標の説明	配布者数 / 対象者数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	381.0	386.0	439.0		
目標	399.0	406.0	469.0	476.0	476.0
目標達成度 (%)	95.5	95.1	93.6		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		視覚障害者において福祉サービスの情報提供にふさわしい、必要不可欠な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
特になし			特になし		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			